

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1189

令和7年4月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



大川沿いのサクラ（大阪市内）

トピックス：令和7年度 近畿中国森林管理局重点取組事項について
（企画調整課）

ニュース：三重森林管理署、森林整備課、資源活用課、総務課

花草木：コウヤマキ

我が署のスタッフ：広島北部森林管理署

森林事務所等紹介：小松森林事務所（石川森林管理署）

国有林最前線：和歌山森林管理署

令和7年度 近畿中国森林管理局重点取組事項について

【企画調整課】

近畿中国森林管理局では、国有林野の管理経営に関する基本計画に基づき、「国民の森林(もり)」として、公益重視の管理経営を一層推進し、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献すべく、「令和7年度 近畿中国森林管理局重点取組事項」を策定し、取り組んでまいります。今回は、その取組の一部をご紹介します。

1

森林・林業施策推進への貢献

被災箇所の早期復旧と国土強靱化施策の推進



被害箇所の応急対策
実施状況（石川県珠洲市）



予防治山事業予定箇所
(奈良県橿原市 畛傍山国有林)

令和6年に発生した能登半島地震及び奥能登豪雨による被災箇所の復旧を最重要課題と捉え、民有林直轄治山事業等を通じた本格復旧に全力で取り組みます。

また、「国土強靱化5ヵ年加速化対策」を着実に実行し、被災リスクを最小限に抑えます。

低コスト林業実現への貢献



雑草木との競合状態
に応じた下刈りの省略



伐採と造林の一貫作業
による低コスト化

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の実現に向け、林業の省力化や低コスト化に資する技術開発・実証を推進してまいりました。本年度も現地検討会を通じて、これまでに得られた成果等を公表し、民有林関係者への普及・定着を図ります。

2

公益重視の管理経営

森林整備の着実な実施



間伐実施前後の森林の様子

間伐等の森林整備を着実に実施し、洪水の緩和や土砂の流出防備等、森林の多面的機能のさらなる発揮を図るとともに、地球温暖化防止対策の推進に寄与します。

▶ 生物多様性の保全及び多様な森林づくり



新設する保護林（岡山県
たかはし 高梁市 臥牛山国有林）

緑の回廊（兵庫県新温泉町
しんおんせんちよう はたがなる 畑ヶ平国有林）

生物多様性保全の観点から、特に希少な生物群集の有する国有林等を「保護林」に設定し、保護林間を相互に連結し森林生態系のネットワークを形成する「緑の回廊」とともに、適切な保全・管理を行います。

▶ シカ捕獲の推進



伊吹山（滋賀県）の
植生衰退の様子

ICT 囲い罠の貸出しと設置支援

森林・林業にとって深刻な課題であるシカによる森林被害への対策として、効率的な捕獲方法の普及や地域との連携及び ICT を活用した各種取組を推進します。

3 民国連携及び民有林支援

▶ 民有林と連携した木材生産



民有林と国有林が隣接する場所において「森林共同施業団地」を設定し、路網や中間土場等の連携整備と相互利用を行い、双方の森林整備及び木材生産の推進を図ります。

【取組事例】

三重県いなべ市の^{こにゅうだに} 悟入谷国有林では、森林施業団地の拡充に向けた新たな協定の締結を目指します。

▶ 民有林関係者の技術的支援



路網設計ソフトの活用に係る
出張講座

局内研修における市町村職員の
受け入れ

昨年度に引き続き、職員が民有林に出向いて技術支援を行う「出張講座」のほか、森林・林業の基本的知識に関する局内研修への市町村職員の受け入れ、国有林のフィールドを活用し、現地検討会等を通じた技術的支援を行います。

令和7年度近畿中国森林管理局重点取組事項の詳細については、当局 HP をご覧ください。

令和6年度七里御浜防風林GG作戦を実施しました。

【三重森林管理署】

3月8日（土）、「七里御浜松林を守る協議会※¹」により七里御浜国有林内の3会場（熊野市会場、御浜町会場及び紀宝町会場）で「令和6年度七里御浜防風林GG※²作戦」が開催されました。本イベントは、平成5年度から地域住民の方々が参加する形で「マツクイムシ抵抗性クロマツ」の植樹や防風林周辺の清掃活動を行っており、今回で28回目の開催となりました。



熊野市会場



御浜町会場



紀宝町会場

当日は天候にも恵まれ、3会場合わせて約100名の地域の方々が集まり、各会場80本ずつ計240本の「マツクイムシ抵抗性クロマツ」を植栽し、植栽会場周辺や海岸のごみ拾いも併せて行いました。

今回の植栽では、苗木の活着を促すため、腐葉土を混ぜ込みました。三重森林管理署では、地域の皆様の思いが込められた苗木が立派な

※1：「七里御浜松林を守る協議会」とは、七里御浜松林の保全を目的に、熊野市、御浜町、紀宝町、三重県（熊野農林事務所）、環境省（近畿地方環境事務所）及び三重森林管理署で構成する協議会です。

※2：GGとは、グリーングロー（松林を守り、育てる）の略語です。

「令和6年度 林業事業体等との意見交換会」を開催しました。

【森林整備課・資源活用課】

2月26日（水）に造林及び生産請負事業体等を対象とした意見交換会を開催しました。

当日は、桜ノ宮合同庁舎大会議室をメイン会場に、管内各森林管理署等の会議室をサブ会場として、Web会議システムを併用する形で開催し、全体で53の事業体の皆様にご参加いただきました。まず局長から挨拶の後、担当者から情報提供を行い、意見交換に進みました。



局長の挨拶

意見交換では、「早期発注はほとんどの事業体が喜んでいると思う」「冬下刈りの取組に感謝している」など



メイン会場の様子

当局の取組に対して肯定的な声があった一方で「素材公売では資金繰りが厳しい」「資材価格が上がって考慮してほしい」といった要望なども出され、今後、国有林野事業を運営していくうえで貴重な情報を得ることができ、有意義な意見交換会となりました。

近畿中国森林管理局では、林業事業体の皆様からいただいたご意見をしっかりと検討し、森林・林業・木材産業の発展に引き続き努めてまいります。



説明する森林整備部長

今回の意見交換会の概要や資料については、当局のホームページに掲載しています。

動画ワーキングチームが作成した動画をホームページに掲載しています。

【総務課】

令和5年度から広報活動のさらなる充実を図るため、「動画ワーキングチーム」（以下 WT）を設置し、国民の皆様への情報発信を推進するとともに、人材の確保・育成にも資することを目的に WT に応募した職員が動画の作成に取り組んでいます。



近畿中国森林管理局の紹介

動画の内容は、近畿中国森林管理局の紹介のほか新進気鋭の若手職員ならではの感性で熱意とやる気が伝わるテーマが幅広い内容となっており、新しく更新しているのは、「やまっぴーとモーリーはかせの森クイズ」「ドローンの旅路」です。

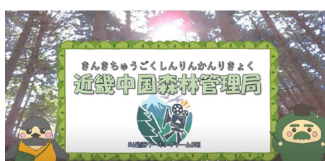
やまっぴーとモーリーはかせの森クイズ



（森のキケン編）



（森のちしき編）



（森のようす編）



（森のふしぎ編）

WT の動画は他にも下記ホームページに掲載しているに、ぜひご覧ください。



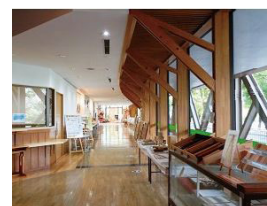
ドローンの旅路

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/2023douga_r5.html



お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○現在の展示は、4月1日（火）～6月4日（水）近畿中国森林管理局、4月10日（木）～5月7日（水）高知県 大阪事務所、4月10日（木）～5月7日（水）NPO 国産材住宅推進協会が行っています。

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【箕面森林ふれあい推進センター】

○ホームページで「こだま通信」、フォトギャラリーのほか様々な活動の情報を掲載しています。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

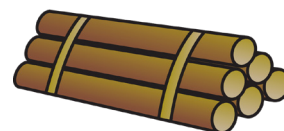


【森林技術・支援センター】

○近畿中国森林管理局森林技術・支援センターは、森林・林業に関する技術の研究・開発を行いその成果を情報発信することで、広く一般への普及を目指しています。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/index.html



花草木

【コウヤマキ】

コウヤマキ（高野槇、学名：Sciadopitys verticillata）は、一属一種の日本固有の常緑針葉樹で和歌山県の高野山に由来する名前を持ち、特にその地域で多く見られます。

特徴としては、真っすぐに伸びる幹と傘のように広がる樹形が挙げられます。葉は独特で2枚の葉が合着したような形状をしており、葉の先は触れても痛くない柔らかさがあります。同じように樹皮もスギやヒノキに比べ柔らかく厚いです。

また、春には茶色っぽい花を咲かせ、秋には松ぼっくりのような実をつけるため、観賞用としても人気があります。

コウヤマキは古くから木材として利用されており、特に古墳時代には棺材として広く使われていました。また、仏壇の供え用としても使用されることがあり、霊木として大切にされています。



コウヤマキの稚樹 高野山国有林
(和歌山県高野町)

コウヤマキの花言葉は「奥ゆかしさ」です。

我が署のスタッフ 広島北部森林管理署 永見 優衣 (ながみ ゆい) (令和6年度採用)

【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループで主に経理業務を担当しています。入庁当初は大変だった業務も上司や周りの方々に助けていただきながら、日々勉強して頑張っています。

経理業務の合間に、収穫調査や、現地検討会など、先輩方に現場に連れて行っていただき、様々なことを勉強しています。



現場業務を終えて

【職場の雰囲気は？】

仕事は個々ではなく、チームで助け合いながら取り組む意識が強く、連絡の取り合いを大切にしてい丸となって取り組んでいます。仕事に関わらず、私生活で困っていることがあれば、相談に乗っていただける優しい人たちが多いです。署の周りに美味しいご飯屋さんも多く、職場の先輩方とご飯に行くこともあります。

【林野庁の魅力は？】

たくさんありますが、国家公務員で異動も多いことから、先輩方のこれまでの異動先での経験を聞くことができる点です。各地の業務内容に関わらず、生活面やご当地の美味しいご飯など興味深いお話を聞くことができます。興味深いお話を聞き、私自身もこれから挑戦してみたい業務や、将来のビジョンを考えるきっかけにもなっています。私も様々な業務を経験して、先輩方のように立派に仕事ができるように頑張りたいです。

森林事務所等紹介

小松森林事務所（石川森林管理署）

首席森林官（前任者） 金道 友博（かねみち ともひろ）

石川森林管理署小松森林事務所は石川県の南端、日本海に面した小松市に所在しています。管轄区域は小松市と加賀市の2市で、国有林約5,800haを管理しています。

管内で、特徴となる事業は何といたってもマツクイムシ防除とその被害木処理です。特に安宅林^{あたかばやし}国有林の傍らには歌舞伎「勧進帳」で有名な「安宅の関」があり、歴史遺産としてだけではなく観光地としても松林が重要な構成要素となっており、保護事業が重要となっています。

また、石川県南部から福井県境にかけて広がる海岸林「加賀海岸国有林」430haでも、年間を通してマツの保護を行っています。



ヘリによる薬剤の空中散布

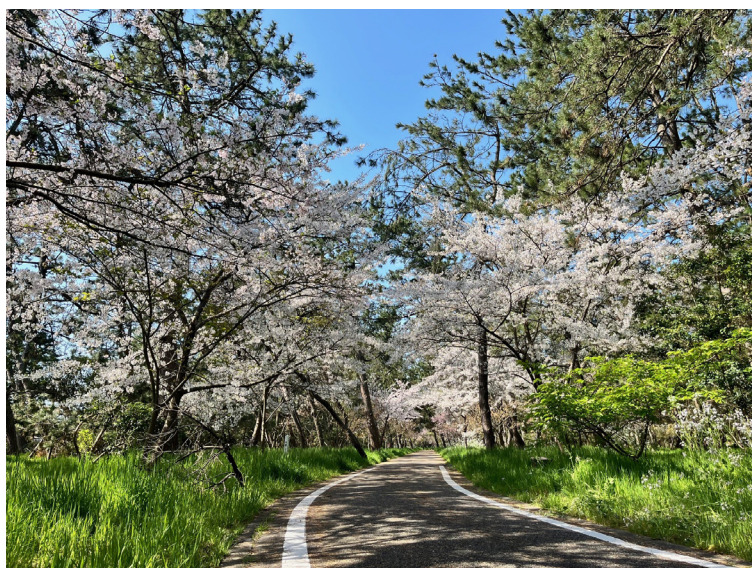
近年、全国的にはマツクイムシ被害のニュースを耳にすることは少なくなりましたが、石川県においてはここ数年、大きな被害が発生しています。

保護対策として行っている主な事業は、薬剤の地上散布（57ha）と空中散布（196ha）、樹幹注入（590本）、被害木の伐倒駆除（破碎処理（195m³）と燻蒸処理（38m³）、海岸防災林造成（新植（0ha）、等が挙げられます（数量は令和6年度実績）。

その他、国有林自体が自然公園であり人の出入りが多いこと、民家や行動が隣接していること等から、倒木等の危険について常にパトロールによる監視が重要となります。

そのような中、事業実行による支出が増加する一方で、令和6年度においては破碎後のチップを売り払うことにより収入を得ることができ、大幅な収支改善を実施しました。

今後についても、地元自治体や隣接する安宅住吉神社、森林組合等と連携し、白砂青松の豊かな自然を後世に残していくよう引き続き努めてまいります。



安宅林国有林内サイクリングロード

シリーズ『国有林 最前線！』

シカ被害対策の最前線

和歌山森林管理署

当署で実施しているシカ被害対策関連について、ご紹介します。

① 地域と連携したシカ等被害対策協定の推進

当署では県内 11 の市町村等（田辺市、新宮市、有田川町、印南町、すさみ町、日高川町、上富田町、みなべ町、北山村・高野町・金剛峯寺他）と国有林等におけるシカ等被害対策に関する協定を締結しており、協議会等への「くくりわな」等を貸与して、シカ等の捕獲を進めています。



協議会へ貸与している「くくりわな」



協議会へ貸与している「地獄檻」

② 捕獲したシカ个体処理の実証試験

年々、捕獲する個体数が増加することで捕獲個体の処理に苦慮していることから、「大型排水管を活用した残渣処理試験」を実施しているところであり、全国各地の行政機関等からの問い合わせや現地視察の申し入れに対応しております。



大型排水管を活用した残渣処理試験の現地視察

③ 防護柵の工夫

低コスト造林を推進するため、これまでの防護柵（10cm 目合いステンレス入り）から、ホームセンター等で購入できるアニマルネット※（16mm 目合い）を使用することにより、材料費を 1/3 に抑えるとともに支柱を立木利用にすることで、コストダウンを図っております。

また、このネットは重量が軽く、資材運搬等や施工性の向上も図っております。



アニマルネットを使用した防護柵

和歌山森林管理署では、今後も引き続き市町村等と連携し、シカ等獣害対策を推し進めてまいります。

※アニマルネット：獣害対策用のポリエチレン製のネット